



子育てとSDGs絵本 その2

SDGsは17の目標があり、カラフルなアイコンに書かれた文言には、生きていくための基本的ニーズに関わる貧困、飢餓、健康や福祉、水や衛生、教育、不平等の解消、経済や産業、平和や公正等人間の社会や経済に関するもの、私たちが生きる地球環境に関するもの等があります。

17の目標は単独ではなく全てがつながりあっています。絵本にも何らかの目標が入っています。そして、ひとつの目標から、相互に関連しあう複数の目標を見つけだすことができます。

4・5歳になればカラフルな目標を前にして、一緒に絵本を楽しみながら、この絵本には何番の目標が入っているか親子で話し、感じたことや思いを出しあってみましょう。正解も間違いもありません。遊び感覚でSDGsを身近に感じられるようになればと思います。

絵本「みんな おなじ でも みんなちがう」はSDGsの大きなキーワードである“多様性”の絵本です。見開きページいっぱいに並んだひまわりの種、うずらの卵。みんな同じ種類、でもみんな形も模様もちがう。幼少時から、自分たちがう人たちがいろいろな生き物がいること、みんなちがって当たり前を感じたいものです。

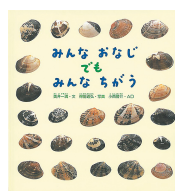
「ぼくがラーメンたべてるとき」はキーワード“つながり”の絵本です。居心地のよさそうな

居間でぼくがラーメンを食べているときに、隣の、また隣の国の子どもたちに起きている過酷な現状。風がつながっているように、人ももつとつながりましょうと伝えている絵本です。

SDGs最終目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」は“多様性”や“つながり”から始まります。

私たち大人は、子どもたちが適切な環境で育つことができるよう「居心地のよい住まい(地球)」を残さなければなりません。子どもたちもこれから自分たちで自分たちの住まいを守っていかねばなりません。子どもたちと一緒に絵本からSDGsを考え、身近なことから行動していければと思っています。

今回ご紹介する絵本



みんな おなじでも
みんなちがう
文 奥井 一満
写真 得能 通弘
AD 小西 啓介
福音館書店



ぼくがラーメン
たべてるとき
作 長谷川 義史
教育画劇

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター。Think the Earth SDGs for School 認定エデュケーター

